

こうちみませ楽舎 第6回(成果発表会・修了式)レポート

12月18日に開催した、令和3年度のこうちみませ楽舎最終回は、成果発表会と修了式です。当日は、地域住民や大学生、受講生の家族など、たくさんの方が見学者が来校。和やかな雰囲気の中、受講生たちが作り上げた成果品を皆さんの前で披露しました。

【教室1 学校活用プロジェクト「教室活用プランづくり&DIY」】



教室1では、不用品として集められた材料から、くじで引き当てた材料をもとに、受講生が思い思いの椅子を作りました。

まずは、講師から「ただの椅子ではなく、座った人が笑顔になったり、交流が生まれる椅子をつくることを考えた。そのために、あえて『普通の椅子』のスタンダードである、地面からの高さ等を受講生に伝えなかった。くじで当たった不用品には、到底椅子になるとは思えない『無茶振り』の物もあるように思えたが、受講生の発想でバラエティ豊かな椅子ができた」とのお話が。受講生たちも、自分の作った椅子に座り、真剣に聞き入ります。

その後に、教室いっぱい置かれた椅子を、受講生一人ひとりが紹介。

大人と子どもが並んで座れる階段スツール。子どもでも転がして運べるよう、六角形の形をした椅子。賽銭箱のような形をした、その名も「酒代をかせぐ椅子」…などなど。たんす、流木、サイドミラー、スケートボード、鍋など「不用品」として回収されたものが、思いがけない形の椅子に代わっている様子に、見学者からも「おお～」という驚きの声が上がります。





こうちみませ楽舎名誉校長である岡崎市長も、椅子制作者の受講生と一緒に座ってみます。スケートボードを材料に、シーソーの形になっている椅子。1人で座るのは簡単、でも2人で座るにはバランスが大切な「思いやりの椅子」です。

座るにあたって相手と声を掛け合う必要があったり、誰かが座ったらつい笑ったりしてしまうような、「関係性が生まれる」椅子たち。ここにしかない、素敵な椅子が生まれました。

【教室2 商品開発プロジェクト「地域食材でご当地バーガーづくり」】

教室2では、「地域の食材を使い、地域の関係人口（※）を増やせるようなご当地バーガーをつくる」ことをゴールに、フィールドワークで見つけた食材からレシピを考えました。

（※）関係人口：移住した「定住人口」でも観光に来た「交流人口」でもなく、地域と多様に関わる人々を指す言葉。（総務省ホームページより）

元々は、昨年度のプレ開校で出たアイデア「サイクリングコース&ご当地バーガー」が、地元の方の目に留まり、「実際に商品として考えてみよう」という話から始まったこの教室。誰をターゲットにするか。どんな食材を使うか。コンセプトは何か…などなど、考えて話し合うべきことが多く、なかなか大変だったと思います。

そんな中で出来上がったバーガーがこちら。その名も「元親武者ムシャバーガー」。御豊瀬地区で獲れる深海魚・沖ウルメのフライをメインに、高知市産のレタスやトマトを挟み、彩りには紫キャベツのピクルスを。味付けは手作りタルタルソースとバジルソースの2種類があります。



モチーフは地元ゆかりのある、長宗我部元親公。22歳の時に長浜で初陣、のちに桂浜近くに浦戸城を築城しました。バーガーの装飾には、元親公の武器である槍を模した竹串としおりを刺します。

成果発表会当日は、受講生や見学者含め約60食を提供。受講生たちが朝から一生懸命作りま

した。その甲斐あって、味は好評！「商品化したら、ぜひ買って帰りたい」との声も。ご当地バーガー界に新星が誕生しましたね。

レシピはできたものの、これからが始まりです。できたものを今後どうやって広げていくのか。まずはイベントへの出店などから始めて、少しずつ認知度を上げていきたいですね。

【教室3 情報発信プロジェクト「絵と文字で伝える地域のストーリーづくり」】



教室3では、地域の歴史や風景、伝統、あるあるネタなどを伝えられるかるたを作りました。名前は「こうちこころへんかるた」。

「長浜・御畳瀬・浦戸地域に共通するようなネーミングを」と考えた時、「こころへん」という言葉が受講生から出ました。いい意味でゆるく、一度聞いたら記憶に残る名前。

「こころへんってどこらへん？」と、つつい札を見たくなること請け合いです。

成果発表会では、受講生によるエキシビジョンマッチを開催。札は「めたをどろめに たまるか地酒をまた一杯」「さかなの干魚は はだかがうまい」「トラックに こじゃんとユリ積み 出荷場へ」など、地域性が溢れるものばかり。岡崎市長が読み上げた札に素早く反応する受講生たち。さすが、制作者ですね。でも、絵が似ている「ひっかけ札」もあるので、お手付きには注意が必要です！

今回作ったのは、かるただけではありません。かるたの札になった場所を長浜・御畳瀬・浦戸地域の地図に当てはめた「こうちこころへんかるた 聖地巡礼マップ」。かるたで楽しく遊んだ後は、その札のもとになった場所を巡ってみるのも楽しいかも！実際に、見学に来ていた大学生が、「発表会が終わった後に、御畳瀬の『巖島神社』に行ってみる」と話していました。





また、「かるたをどう広めていきたいか？」に対して、受講生たちが出したアイデアを、講師の高橋萌瑛さんがグラフィックレコーディングでまとめた作品も紹介。公共施設への配布や大人のかるた大会、SNSでのシェアや商品化など…夢は広がります。

成果発表会の後は、修了式を行いました。プレ開校から継続して参加してくれた受講生、今年度の新規受講生…いろいろな人のアイデアを掛け合わせ、実現に向けて頑張った6回で、受講生同士の良い関係ができたことも成果のひとつだと思います。

最後に記念撮影をして終了。皆さん、本当におつかれさまでした！

